

令和8年1月26日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第109回（通算第188回）定例会 会議録

◆日時：令和8年1月20日（火） PM7：00～8：25
◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂
◆出席者：24名 + オンライン 1名

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：00～20：25】

19：00～	開 会
19：00～19：05	情報提供 <ul style="list-style-type: none">・講演会（テーマ：災害対応） 3/7（土） 紀南文化会館小ホール・講演会「メンタルヘルスセミナー」 2/3（火） ビッグU・地域医療連携カフェ「こころのケアと多職種連携」 2/28（土） 南和歌山医療センター・研修会「新しい認知症観」 3/19（木） 南和歌山医療センター
19：05～19：35	研 修 「熊野高校看護科の現状と課題」 講師：和歌山県立熊野高校 看護科長 横出 恵氏
19：35～20：05	意見交換
20：05～20：25	発表・コメント
20：25	閉 会

【研修内容】

○熊野高校看護科の現状と課題

- ・熊野高校看護科は、和歌山県で唯一の5年一貫看護師養成校であり、中学校卒業後最短で看護師資格を取得できるコースである。
- ・学校には総合学科と看護科が設置。教育理念は「自立・共生・挑戦・貢献」。
- ・高校の3年間では普通教科も学び、高校卒業資格を取得できる。5年間の教育を修了して初めて、看護師国家試験の受験資格が得られる。
- ・全国の5年一貫校は82校あり増加傾向にある一方、看護大学も310校に増加している。3年課程や准看護師養成所は減少傾向にある。
- ・近年、看護・福祉分野の希望者減少の影響もあり、定員（1学年40名）割れが続いている。低学力や配慮を要する生徒が増加傾向にある。
- ・成績不振や進路変更による退学・転学が多く、令和3年度入学生は32名から最終学年では24名に減少した。特に、専攻科1年生の時点で学習内容が急に難しくなる「専一ショック」が見られる。
- ・入学生は素直で情緒豊かな生徒が多いが、学習面で受動的で主体性が乏しいという課題がある。5年間の学習意欲を維持することが難しい。
- ・過去5年間の国家試験合格率は95%前後で推移している。多くの卒業生が医療機関に就職するが、大学への編入学や進学を選ぶ学生もいる。就職後半年以内に離職する卒業生が毎年数名おり、リアリティショックが要因の一つと考えられる。卒業生が都会へ流出する傾向もある。
- ・主体的・対話的で深い学びを重視する新学習指導要領に対応し、授業改善（ジグソー学習、ロールプレイング）、地域連携（小学校での手洗い指導）、他校とのオンライン交流、卒業生との連携、個別指導の強化などを実施している。
- ・多職種連携の重要性を理解させるため、現場の専門職による講義を導入しているが、生活経験の乏しい高校生が他者を理解することに難しさを感じている。
- ・生徒が自らの成長を実感し、自己肯定感を高められる機会の創出を目指している。

【意見交換】

○看護科へのエール

- ・中学卒業時に将来のことを決めるのは難しい
- ・モチベーション維持、強い志がないと継続が難しいと思う
→コミュニケーション能力の向上。人とのかわりあいができるように仲間をつくる能力も
- ・総合学科と比べると“なぜ自分たちだけが大変なのか・・・”という学生の気持ちのフォローにご苦労されていると思う
- ・少数精鋭・コスパがいい
→（講師）一人でも多くの看護師を育てたい
- ・男性看護師も増えているが、女性患者への対応において精神的な配慮が必要であり、大きな勇気が求められる
- ・都会に行かずに地元に残ってほしい。残りたい条件を聞いてみたらどうか
- ・定員割れに対しては、定員数の見直しも必要ではないか
→（講師）これは県の考えにもよるが、“減らさない”ということは看護師を増やしたいという思いの表れだと思う
- ・看護師を目指すきっかけを提供するため、中学生への出前講座などのアプローチも必要では
→（講師）小学校も含めて学校に現状を伝えていきたい
- ・卒業後の働く場所の整備や就職先のサポート、意思疎通が大切

○質問

- ・看護科の学生の男女比や出身地は？
→（講師）1年生 6/24人 2年生 3/35人 3年生 4/25人 専攻科1年 1/22人 専攻科2年 6/23人と男子も入ってきやすい。総合学校の男子とも仲良くしている。
- ・遠方の人は寮生活？

- (講師) 熊野高校の寮があり、入っている子もいるが、高校生のための寮なので専攻科になると出ないといけない。毎年、量や一人暮らしの子が5~6人いるが、紀北から電車で通っている子もいる。
- 昔は夜勤実習があったが、今もあるのか?
→ (講師) 夜勤はないが、準夜の入り口ぐらいの時間で引継ぎの実習はある
 - 先生になろうと思ったきっかけは?
→ (講師) 看護教育に興味があった。おなじ看護師という視点で学生を見ることができていると思う。
 - 学生の地域実習で学んでほしいと思うことは?
→ (講師) 地域に目を向けること。訪問先だけでなく、多職種で集まっている場などにも連れて行ってあげてほしい。地域のつながりを理解してもらいたい。
- ⇒地域力で地元を引き留めよう！しっかり育てよう！

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和8年2月17日(火) 午後7時～

場所：田辺市医師会館 3F 大講堂

内容：未定